

セミナー開催のご挨拶と TDBCの概要とSDGsの取り組み

2024年11月11日

一般社団法人 運輸デジタルビジネス協議会
代表理事 小島 薫

セミナー開催のご挨拶と TDBCの概要とSDGsの取り組み

2024年11月11日

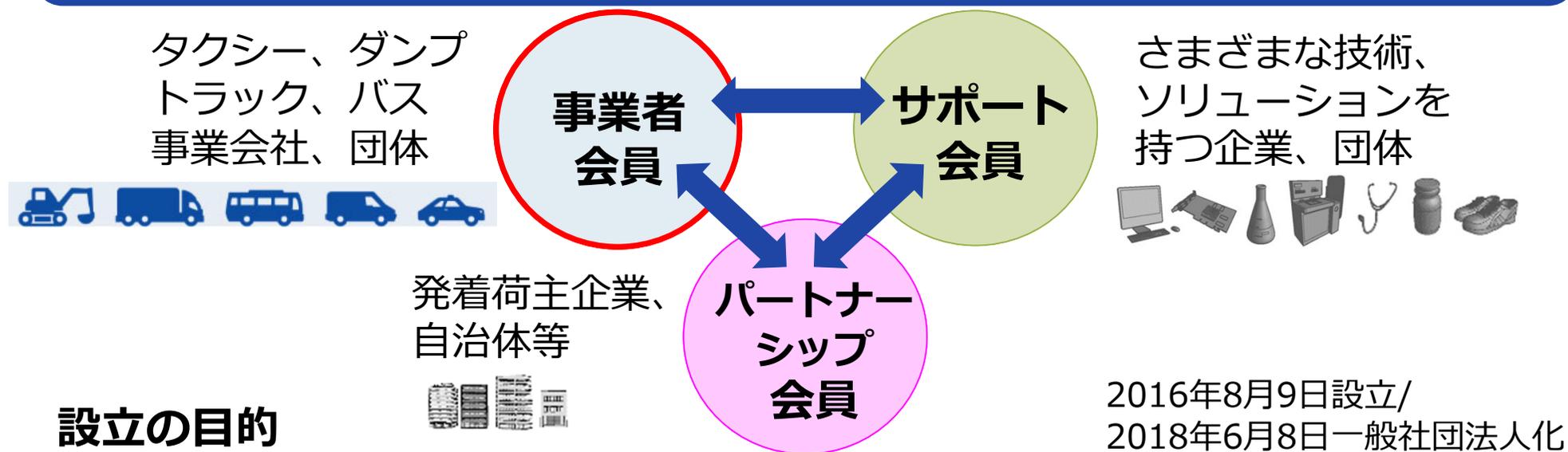
一般社団法人 運輸デジタルビジネス協議会
代表理事 小島 薫

協議会の概要

設立の背景

運輸（建設）は産業や社会の基盤、中小企業が99%以上
さまざまな業界課題

① 1社では解決が難しい、② 同じ課題を各社で解決



設立の目的

運輸業界と、ICTなど多様な業種のサポート企業、およびパートナーシップ企業が連携し、デジタルテクノロジーを利用することで運輸業界を安心・安全・エコロジーな社会基盤に変革し、業界・社会に貢献する

テーマ毎のWG活動（2024年度）



WG01 「事故撲滅と実現のための管理者、乗務員教育」

WG02 「健康経営の推進と健康課題解決」

WG03 「日本版ライドシェア等による公共交通の未来への挑戦」 *

WG04 「人材、働き方改革、
荷主とのパートナーシップによる2024年問題の対応」

WG05 「動態管理プラットフォーム（traevo）を活用した
持続可能な物流の実現」

<WG05A> 共同輸送データベース構築とその先のフィジカルインターネットの推進

<WG05B> CO2排出量の精緻化を通じた物流改善とその先にあるカーボンニュートラルの実現

WG06 「業界共通プラットフォームへのデータ連携によるその先へ」

WG07 「遠隔操作・自動化で実現する安全・安心な作業現場と迅速な災害対応」

WG08 「無人AI点呼実現への挑戦」

WG09 「SDGsの推進と、カーボンニュートラル・エコドライブの実現」

<https://tdbc.or.jp/working-group/>



TDBCとしてのSDGs推進



3.6 2020年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。

3.6.1 道路交通事故による死亡率

9.1 全ての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラを開発する。

9.1.2 旅客と貨物量（交通手段別）

(③保健)

13.2 気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。

13.2.1 気候変動の悪影響に適応し、食料生産を脅かさない方法で、気候強靱性や温室効果ガスの低排出型の発展を促進するための能力を増加させる統合的な政策/戦略/計画（国の適応計画、国が決定する貢献、国別報告書、隔年更新報告書その他を含む）の確立又は運用を報告している国の数

パートナーシップ

17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

11.2 2030年までに、脆弱な立場にある

女性、子供、障害者及び高齢者の交通機関の拡大改善により、全で容易に利用でテムへのアクセ

12 つくる責任
つかう責任



(⑰実施手段)

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



TDBCとしてのSDGs推進



産業、社会生活の基盤、環境への言及



- 物流の2024年問題解決に向けた「物流革新に向けた政策パッケージ」
「物流は国民生活や経済を支える社会インフラ」

- 環境への言及（3省合同会議「取りまとめ案」）



1. 基本方針について

（1）貨物自動車運送役務の持続可能な提供の確保に資する運転者の運送及び荷役等の効率化の推進の意義及び目標に関する事項（第33条第2項第1号）として、

- ・ 物流の過程において二酸化炭素の排出等による環境への負荷が生じていることに鑑み、その負荷の低減を図るため、トラック輸送の効率化や共同輸配送、モーダルシフトの推進等を通じて、脱炭素社会の実現に寄与することが求められていること。

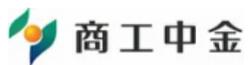
- ・ これらの目標の達成に向けた取組を通じて、地球温暖化対策の推進に関する法律（平成10年法律第117号）第8条第1項に基づく地球温暖化対策計画（令和3年10月22日閣議決定）に対策・施策として位置付けられている脱炭素物流の推進に貢献すること。



お伝えをしたいこと

- 運輸事業者の業務遂行そのものがSDGs達成貢献
- SDGsは企業の社会的責任であると同時に、社員がその実践に参画
- 物流の2024年問題の解決に向けた物流2法改正の物流効率化法でも環境に関して言及
- とともに解決とのTDBCのポリシーの実践として自社の取り組みや知見を公開し、業界、社会に貢献
(パートナーシップで目標を達成)
- 業界全体として更なる貢献と顧客、社員から選ばれる事業者となるための重要な取り組み、ぜひ一緒に実践を

協議会スポンサー



一般社団法人 運輸デジタルビジネス協議会

kws v=22wge f1ruins 2

H0p dl#xq |x1fr@z lgj duf1frp

WHO 3608<950:6:3

